

## 第5回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会 会議抄録

1 日 時 平成21年10月9日(金) 13時30分開会  
16時30分閉会

2 場 所 糸魚川市役所 201・202 会議室

3 出席者 ・委員 17名

新井委員、池田委員、入沢委員、大月委員、小笠原委員、  
後藤委員、佐藤委員、中山委員、福崎委員、藤野委員、  
本庄委員、松澤委員、柳委員、山岸委員、山岸委員、  
山本委員、渡辺委員

(欠席) 内山委員、北村委員、穂苅委員

・事務局【市 民 課】 伊藤環境対策室長、渡辺副参事、  
七澤主査、中村主任主事

(清掃センター) 室川係長、杉本主任主査

【能生事務所】 中村主査

【青海事務所】 二宮主任主事

【財団法人 日本環境衛生センター】 南技師

・傍聴者 なし

### 4 次 第

(1) 開 会 進行 伊藤室長

(2) 会長挨拶 山岸会長

(3) 議 事 進行 山岸会長

### <主な質疑・意見>

各項目について資料に基づき説明し、その後委員から質疑・意見をいただいた。

前回質問の埋立ごみの処理経費と全国にある炭化炉の数などについて回答  
事務局) 埋立てゴミの処理経費について本年度9月末までの実績は

(持込先)	(持込量)	(処理費用)	(単価)	
飛田テック	511.36 t	4,290 千円	8,400 円/t	
エコパークいずもざき	402.15 t	13,300 千円	31,500 円/t	となっている。

炭化炉施設については全国で6施設あり、耐用年数は15年程度との見解である。また、エコパークいずもぎきの許容処理能力については、現在、150万 $\text{m}^3$ のうち97万 $\text{m}^3$ の埋立てが既に完了しており、H25年に埋立完了予定となっている。

委員) 6施設の内訳はどこか。

事務局) 県内では当市のみ、あとは岐阜県恵那市「エコセンター」、北海道名寄市「名寄地区衛生施設組合」、愛知県田原市「田原リサイクルセンター」、鹿児島県屋久島広域連合「屋久島クリーンサポートセンター」、奈良県広陵町「クリーンセンター広陵」となっている。

委員) 全て日立製か。

事務局) 日立は当市だけで、他は栗本鐵工所と日本碍子(株)になる。

第2章第3節(素案)の内容について

委員) 2-7 ページ「糸魚川のすがた」について「約93%が山林・その他が占めています。」とあるが、この「その他」が入ると不明瞭な印象を受けるので具体的な表現にした方が誤解がないと思うが。

事務局) 具体的な表現に直させていただく。

委員) 関連して表2-5についても合わせて訂正した方が良いのではないか。

事務局) そのように対応する。

委員) 表2-9に「xは、事業所が特定されるため秘匿」とあるが、表2-10にも同様の記載をした方が良いのではないか。

事務局) そのように追記する。

委員) 表2-2に「ごみ総排出量」とあるが、表3-2では「総ごみ排出量」とある。中身に違いがあるのか。

事務局) 同じ内容を指す表現なので文言を統一させていただく。

第4章(素案)の内容について

委員) 表4-4のし尿焼却灰について、人口が減れば当然これも減ると思うが。

事務局) 確かにそうなのだが、一人当たりの量が増加傾向にあるという、し尿担当の話もあり、再度精査してみる。

委員) 表4-2について、過去のごみ排出量については3-2ページに表3-2に対応したグラフが出ているが、表4-2にも過去の推移も含めたグラフを追加すれば分かりやすいと思う。表4-3及び表3-7についても同様に、グラフを追加し

てはどうか。

事務局) そのようにグラフを追加したいと思う。

委員) 表 2-2 に H12 年度実績と比較して H27 年度の目標が掲げられているが、直近の H20 年度の実績も掲載した方がよいのではないかと。

事務局) そのように対応する。

委員) 表 2-2 の目標値に対して表 4-2 の予測値との対比をしっかりと明示し、現状のままでは目標値をクリア出来ない事をハッキリ明記しないとグラフの追加は逆効果なのではないかと。

事務局) グラフにも目標値を入れるという方法もあるが、どのようなやり方が良いか他に意見があれば伺いたい。

委員) グラフ化した方が見やすいという話をどこかで聞いた事がある。いずれにせよ市民の方がパッと見ても分かりやすいものにしてもらいたい。

事務局) 今ほどのご意見を踏まえたくて一度作成してみるの、それを見て再度ご意見をいただきたい。

委員) 表 2-4 と表 4-1 の人口について、基準日が違うとの事だが、平成 18 年度からは数値が一致しているが、どういうことか。

事務局) 基準日ではなく、元となった数値自体が間違っていたので訂正する。

#### 第 5 章 (素案) の内容について

委員) 5-3 ページの目標に対する目標値は四捨五入ではなく切り捨てが妥当と思うが。

事務局) それも一つの考え方と思う。

委員) 5-1 ページの「新エネルギーの推進」というのはこの計画にそぐわないのではないかと。2-5 ページ、2-6 ページにある一連の記述も削ってしまった方がよいのではないかと。

事務局) その方がよいということであればそうさせていただくが、他の方の意見はいかがか。

委員) 2-5 ページで (ごみ関連抜粋) となっているので削除した方がよいと私は思う。

委員) (ごみ関連抜粋) の記述を削除しても良いのではないかと。

事務局) 2-5 ページ、2-6 ページ、5-1 ページとも「新エネルギーの推進」に関する記述は削除ということではよろしいかと。

委員) 5-1 ページの「3R」の表現について、現在は「リフューズ(Refuse)

= 購入抑制」を加えて「4 R」というのが定着しつつあるが、これについては本計画の中でどのように取扱っていくのか、3 Rの発生抑制の中にも含めるのか4 Rとして改めていくのか、考え方を聞かせていただきたい。

事務局) 3 Rに含めるものとして取扱っていく。

委員) その部分をはっきり整理して計画に盛り込んでいただかないとその後の施策の部分に影響がでる。

委員) 4 Rとした方が良いのではないか。

事務局) それらの点も含めてこの後の第6章の部分はワークショップ形式で意見等を議論していただきたいと思う。

委員) 先ほど「新エネルギー」の話の中でごみの熱回収等は考えていないとの事だったが、時代の流れとしては考えるべきでは。

事務局) 言葉が足りない部分もあったがあくまで「現段階では」ということであり、今後の議論していく中で盛り込むこともありうる。

委員) 今回はあくまで平成31年までの計画であり、それまでにそういった予定が無いのであれば盛り込む必要はないと私は思う。

#### (4) ワークショップ(第6章第1節)

取り組み事例の紹介の後、3班に分かれ意見を出し合った。

#### (5) 次回の日程について

事務局) 次回の審議会の日程は10月29日(木)13:30~とさせていただきたい。

#### (6) 閉会